

新連載を始めます。「くらしケア」さんの活動を連載でご紹介します。

くらしケア代表 直野氏自己紹介

はじめまして。くらしケア代表の直野（なおの）と申します。私たちは愛知岐阜で精神科訪問看護を中心に、相談支援、居住支援、地域移行支援を通じてご利用者様とご家族が「明日が待ち遠しい」と思えるような、そんな暮らしの実現のお手伝いすべく活動しています。私たちのゴールは「親なきあと問題の解消」です。これは、あるお父様が私に発した「この子を残して死ねない」との言葉がきっかけでした。もし、この出会いがなければ、きっとくらしケアは生まれてなかったと思います。

私たちは問題の解消にむけてさまざまな活動を行っています。例えば平成29年に岐阜県立看護大学との共同研究を実施、家族会の皆様にご協力いただき、全国訪問看護事業協会を通じて全国の訪問看護事業者へ研究成果を発信しました。また、良質な情報を提供したいとの思いから「親なきあとセミナー」を開催しています。この問題の解消はとても大きなテーマであり、ご家庭の事情や環境により答えは異なります。ですが、決してあきらめることなく、あらゆる情報と社会資源を活用し、より良い支援を行いたいと考えています。このたびあいかれん様より原稿のご依頼を頂戴し、何を書こうかと考えましたが、第一回は自己紹介と支援事例をご紹介します。しばしお付き合いいただけたら幸いです。



(写真1) 入院中

私は昭和43年に屋久島で生まれ、各務原市で育ちました。今は江南市で家族と暮らしています。そして身体障がいの当事者です。きっかけは高校1年生のときに発症した骨肉腫というガン。右脚を失いました。骨肉腫は年間100万人に1人の病気ですが、なんと100万分の1に選ばれてしまいました。主治医からはガン宣告と

切断手術を同時に宣告され、手術後は抗がん剤を繰り返し、髪は抜け落ちました。同じ病気の「同志」の仲間を何人も亡くし、私も再発の恐怖と隣り合わせでした。入院は長期化し高校を中退、ひきこもりになり、親に当たり散らし、社会から取り残される絶望感で精神的にきびしい時期がありました。立ち直るきっかけは入院中にお世話になった看護師(写真1)との再会でした。「同志」の悔しさに思いをはせ、手探りでリハビリを目指しました。今は闘病時に想像すらできなかった会社を運営、障がい者が住まいで困らないよう宅建の資格を生かして居住支援を手掛けています。限られた紙面なのでリハビリ体験は割愛しますが、ブログもありますのでよかったですら検索いただけたらうれしいです。

支援事例

統合失調症の40代女性と70代のお母様親子の親なきあとを見据えた支援です。娘さんは20代前半で発症し入退院を繰り返していました。相談を受けた弊社の永井(看護師・相

連載
NO.1



株式会社くらしケア
ホームページ <http://www.kurashicare.co.jp/>

談支援専門員)にて支援計画を立案、お母様の要望だった自立を見据えて住まいを整えるためにくらしケアがアパートを借上げ、大家さんの理解を得ることとし、2016年11月、親子が希望する立地で家電付きワンルーム(写真2)での自立生活が始まりました。ひとり暮らしの不安を軽減し安定へ導くため精神科訪問看護とヘルパー(家事援助)を導入、お母様にもご協力いただき生活の安定を目指しました。就労意欲が見られたタイミングでB型就労への手続きを行いました。親子との出会いから4年近くなりますが再入院はありません。娘さんに適した体制ができ、それを上手に活用しながら今もおだやかに暮らしています。



(写真2) 移住支援したアパート

私の夢はプロのミュージシャンになることでした。その夢は闘病によりあきらめました、アルバイトを見つけることさえ困難だった私がたどった道は決して無駄ではなかったと思います。なぜなら人は存在しているだけで価値があることを知ったからです。私は障がい当事者として、あらゆる体験を生かして残りの人生をくらしケアの活動にかけています。心と身体の障がいは違いますが、生きづらさを変えたい思いは皆さんと一緒にだと思っています。少しでも皆様のお役に立てるよう良質な情報発信と支援を通じて貢献してまいります。どうか私たちの活動を見守っていただけたら幸いです。引き続きよろしくお願いたします。



(写真2) アパートに設置された家電

※下記は、“くらしケア”さんのパンフレットの一部抜粋しました。

くらしケアの精神科訪問看護とは？

元気だった頃、こんな事が出来ていた
OOが好きだった OOをやってみたい

私たちはこうした声を手がかりに、ご本人様の強みを見いだしたりご本人様ご自身が好きなことに取り組みようお手伝いしています。ご本人様が好きなことに取り組みようになると次第に気分が安定し、集中力がつき、活動や興味の幅が広がり生活が充実したものになります。日常生活ではどの部分がお困りかをご本人様やご家族からお聞きしてご本人様に合った解決方法を提案。病状と上手く付き合いながら生活を組み立てるためのサポートを行います。
●ご相談無料です。お気軽にお問合せください。

ご利用者様の声

- 「お風呂に入れるようになりました！」
- 「家族も相談できるからありがたい！」
- 「不安や幻聴の話を聞いてくれて気持ち楽！」
- 「引きこもりがちだったけど外出するようになった！」
- 「就労施設に通えるようになりました！」
- 「酒の飲み忘れや飲み過ぎがなくなりました！」
- 「一緒に散歩やカラオクに行けるのがうれしい！」
- 「部屋が片付いて気持ちよく生活できるようになりました！」
- 「ひとつのことを集中してやれる時間が長くなりました！」

くらしケアの強み

ご利用者様の自立や目標達成を支援するため相談支援専門員による相談業務を行っています。また専門家との連携による居住支援や金銭管理をサポートするなど自立に向けて必要なご相談にお応えします。くらしケアの代表者は障がいの者です。障がいの者とご家族の当事者目標を大切にしています。

ご利用までの流れ

- 1 ご相談・お問合わせ
- 2 スタッフがゆっくりお話を聞きましてご希望を確認します。
- 3 かかりつけ医や病院のソーシャルワーカーと連携し、訪問看護指示書が発行されます。
- 4 ご利用説明とご契約にうかがいます。
- 5 訪問看護計画書に基づき訪問開始です。

くらしケアは愛知県岐阜県指定の居住支援法人です

住まいのこともご相談ください

様々なことを見据えた自立のためのアパート探しや退院後の住まいの確保など、障がいのある方とご家族を対象に居住支援を行っています。グループホームを探している、アパートを探しているが不動産店で断られた、保証人が見つからないなど住まいに関するあらゆるご相談に応じます。

ホームページやブログ、Facebookもご覧ください



Qご利用いただいている方の例

統合失調症 双極性障害 うつ病 不安症 強迫性障害 自閉症スペクトラム 発達障害 アルコール依存症 精神科 心療内科 メンタルクリニック受診中の方 訪問看護により症状緩和が期待できる方 自立希望の方 家族支援を希望する保護者の方など

Qご利用料金

次の方は自己負担なし(病院窓口と同じ)
・精神障害者保健福祉手帳1級2級の方
・生活保護世帯の方
・福祉医療費受給者証をお持ちの方
自立支援医療受給者証をお持ちの方は1割
・所得によって軽減されることがあります
上記以外の方は保険証による(1割〜3割)
・高額療養費制度の適用あり

私たちのこころくばりの一例

- ♥社名の無いクルマで訪問します
- ♥私車で訪問します
- ♥交通費は無料です
- ♥キャンセル料はいただいておりません



各種ご相談お問合せは

名古屋 052-715-8880
春日井 0568-27-5023

受付時間:平日9時-18時
Eメール info@kurashicare.co.jp

LINEで相談もできます!→

